

十七年二月のウィリアム市を訪れが整備に乘

つながらりつと広げ目標。花と

の渋川卓也主幹、福島

知事賞に輝いた大戸小緑の少年団の宗像団長（右）と小林副団長



### 8月オープン「尾瀬檜枝岐」道の駅登録証伝達式

八月に檜枝岐村にオープン予定の道の駅「尾瀬檜枝岐」の登録証伝達式は二十三日、郡山市の郡山国道事務所で行われた。県内の道の駅は三十二カ所目。

大村敦郡山国道事務所長があいさつし、星光祥檜枝岐村長が「観光情報の伝達、旅行者の休息、災害時の避難などの拠点として役割を果たしていきたい」と述べた。大村所長が星村長に登録証を手渡した。道の駅長とな

る平野勝村観光課長が概要を説明した。磯松教彦県南会津建設事務所長が立ち会った。道の駅「尾瀬檜枝岐」は檜枝岐村字見通の三

五号国道沿いに「尾瀬の日」の八月三十日に開所する予定。四月に新設した観光案内所「尾瀬檜枝岐山旅（やまたび）案内所」や既存の尾瀬の郷交流センター、木工品展示販売所などを合わせて道の駅とする。現在は駐車場の整備工事を進めている。

「すべり台の家」は敷地の高低差を利用し、奥行きのある建物に滑り台を設置、子どもたちを中心とした家族のにぎわいが隣接する高齢者施設の入居者の目にも楽しませ、コミュニティの再生を果たしている」と高く評価された。間浩正さんが建築主で、オオバ工務店（郡山市）が施工した。フォーラムでは六鹿正治JIA会長（日本設計会長）が講演。古谷誠章審査員長（早稲田大教授）らによるパネルディスカッションが行われた。

### 「すべり台の家」を設計 辺見さん（白河）に優秀賞

#### 日本建築家協会東北支部

日本建築家協会（JIA）東北支部の建築十回JIA東北住宅大賞で最高賞の大賞に次ぐ優秀賞を受賞した



JIA東北住宅大賞で優秀賞を受賞した辺見さん

### 「福島現状 韓国で発信」 全羅北道国際交流センター長ら



前列右からイ・ビョン Chol、キム、イ・ホンソンの各氏。後列右から鄭、奥野の両氏

韓国の全羅北道国際交流センターのイ・ビョン Chol、キム、イ・ホンソンの各氏。後列右から鄭、奥野の両氏

十三日、福島と韓国の市民交流を図るため福島市内などを視察した。同日、福島民報社を訪れ県内の現状を韓国で発信すると誓った。イ・ビョン Chol氏は「福島現状を肌で感じる事ができた。韓国に戻って風評払拭（ふっしょく）に努め、市民交流につなげた」と語った。

「復興に向かう県民の姿に感銘を受けた。韓国の保護者の多くは福島に対して不安を抱いている。不安を拭い、韓国から福島に修学旅行に来るよう働き掛ける」と約束した。イ・ホンソン氏は「文化面での交流を活発化させたい」と展望を語った。福島市のNPO法人ふくかんねつとの鄭玄実（チョン・ヒョンシム）理事長、奥野広美理事と一緒に訪れた。

### コープふくしま大臣表彰

対象にした家事支援な

（左）福島市・写真

イ・ホンソン代表は二

まとめる立場にある。

理事が一緒に訪れた。